

2/13(木)タンザニアのお友達のために～寄付金わたしの会～



朝の活動の時間に、「寄付金わたしの会」が行われました。5月10日の児童集会では、飯綱町に住んでいらっしゃる、タンザニア出身の小林フィテアさんから、言語や文化、国旗に込められた意味などを説明していただいたり、映像を通して豊かな自然や動物、子どもたちの家庭生活や学校生活の様子を学んだりすることができました。タンザニアの子どもたちの生活についてや、困難に感じていることなど、実際の姿を聴かせていただきながら、「自分たちにとっては、あたりまえに感じていたことが、実はそうではなかったんだ…」ということに、驚きの表情を見せた全校のみなさん。そして、「自分たちにできることは何だろう？」と考え、「アルミ缶を集めることが、タンザニアのお友達を助けることになるんだ。」という意識をもち、「アルミ缶集め」の活動がスタートしました。お家の方や地域の方にも協力していただき、1年間を通して390kgのアルミ缶が集まりました。

全校の「優しい心」がつまった寄付金を受け取っていただいた後、フィテアさんからお話をさせていただきました。その中で、「タンザニアと飯綱町は、お互いに遠く離れた場所ではあるけれど、固い絆で結ばれていること」が伝わってきました。また、卒業生、在校生に対するメッセージもおくってくださいました。

きっと、一人ひとりが、「1年間、アルミ缶集めをしてきてよかったなあ。」という気持ちになったことと思います。奉仕委員会みなさん、すばらしい活動の企画・運営をありがとうございました。そして、ご苦労さまでした！

